



上山小学校「風のたより」

令和5年9月1日（金） 校長 有谷孝彦



学校経営目標：ふるさとを愛し、
自らの未来を切り拓く児童を育成する



2学期が始まります！

バスケットボールのワールドカップが、日本では沖縄で開催されています。体格的に日本人は諸外国より小さめですので（一般的に）、ジャンプ系のスポーツは不利であることは否めないと思います。しかし、先日のフィンランド戦、ベネズエラ戦の怒涛の守備と攻撃は凄まじく、我々国民に勇気と希望を与えてくれました。



バスケットボールは習慣のスポーツであるとも言われます。また、戦術面も結果に大きく左右するところではありますが、今回の日本の勝利は、外からの強烈な圧力（ストレス）を跳ね返すだけの「強気」が、ホーバスヘッドコーチをはじめとする全選手とスタッフにあったからであろうと私は思います。

長期休業が終わり、2学期が始まったばかりのこの時期は、心が不安定になるといわれています。私も「強気」とつぶやきながらこの時期を乗り越えたいと思っています。跳ね返す自分づくりに子どもたちと一緒に励みたいと思います。



木

金子みすゞ

お花が散って
実が熟れて、
その実が落ちて
葉が散って、
それから芽が出て
花が咲く。
そうして何べん
まわったら、
この木は御用が
すむかしら。



2学期の目標

長い長い夏休みも終わります。1学期を振り返ってみますと、それぞれに反省があり、その改善を図るために2学期からの取組を考え、実践できるよう話し合いや準備を進めてきました。



その中でも、やはり学校の使命である学力向上を図ることが最重要課題として挙げられます。上山小学校の学力は、総じて諫早市内の上位にあり、それを維持している状況ですが、やや二極化の傾向があります。私たち職員は、「楽しい学校」＝「学習内容がわかってうれしい学校」ととらえています。そのためには、日常の授業を充実させて「楽しい学校」を実現したいと考えています。

「一隅を照らす教育」を目指します。

「一隅を照らす教育」を目指します。

また、社会で生きる基本の一つである「時間を守る」ことを徹底します。社会（組織）の中で生き抜いていくためには、最低限のルールを守り、お互いが気持ちよく生活できることが土台となります。ルールを身に付けた人間は、情緒が安定し、対人関係もよくなります。もちろん授業に臨む姿勢も落ち着いてきます。

「時間を守る」ことは、簡単なようですがそうでもないとは思っています。大人である私たちが、まず手本を見せながら定着させます。

地域の学校

上山小学校（9月1日現在）の児童数は447名です。中には体調不良で欠席の児童もいましたが、ほぼ全員の出席と、この長期休業中の無事故を確認できました。ほっと胸をなでおろしたところです。



元気に登校してくる児童もいれば、やや不安げに登校してくる児童もありましたが、地域の皆様の見守りを受けながら2学期を迎えることができました。先生方には、「ロケットスタートをする必要はない」とお話ししました。70日を超える2学期ではありますが、楽しいけれど、いそがしい学期となります。みんなで有意義な2学期にします。

☆上山小のHP「スミシだより」毎日更新しています。QRコードもご利用ください。